

添付書類 イベント等事業実績報告

団体名	赤松校区むらづくり推進委員会	活動名	手づくり鎧かぶと教室
-----	----------------	-----	------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 町立赤松公民館・旧赤松幼稚園	② 実施期間 自 平成25年5月8日 至 平成25年11月23日
③ 実施体制 団体構成員 23名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業)	
5月 8日 講座開講式 説明会20名参加	
15日 兜 (型紙パーツの切り出し)	
29日 兜 (鉢づくり)	
6月 8日 兜 (布補強ニス及ペンキ)	
兜 (飾り布張り付け)	
兜 (組立)	
7月 4日 鎧 (胴組立)	
17日 鎧 (胴布補強)	
31日 鎧 (胴布補強ニス・ペンキ)	
8月 8日 鎧 (胴飾り布張り付け)	
21日 鎧 (胴組立)	
28日 袖づくり	
9月 5日 草づくり	
18日 袖・草づくり (布補強ニス・ペンキ)	
25日 袖・草づくり (飾り布張り付け)	
10月 3日 紐通し	
16日 草づくりと胴の組み合わせ	
30日 仕上げ	
11月 7日 仕上げ	
20日 仕上げ	
⑤ イベント参加報告	
9月28・29日 島根県安来市 尼子フェスティバル参加	
10月19日 備前片上延本氏他1名来館	
10月20日 第17回夢前置塩城まつり参加	
10月27日 赤穂市高雄公民館まつり参加 (15名)	

11月10日 商工会まつり参加（34名）

11月16日 総仕上げ（20体完成）

11月23日 白旗城まつり

島根県安来市・備前片上・夢前鎧づくりによる武者行列

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

- ・手づくり鎧・兜を介してご縁により、鎧武者の勢揃いが実現し、それぞれの歴史文化交流ができたとおもいます。
- ・鎧・かぶとを手づくりでつくることで、地域全体の親睦を深めることができた。
- ・東備西播定住自立圏構想がめざす、2市1町の資源を生かした文化交流の推進につながることもできた。

② 今後の課題

鎧・かぶとを地域の活性化にいかんにかかしていかんが課題である。



写真のコメント

【鎧・かぶと教室】

5月8日

鎧・かぶとのパーツ



【鎧・かぶと教室】

5月15日

型紙パーツ切り出し



【鎧・かぶと教室】

7月31日

ニス・ペンキ塗り



写真のコメント
【鎧・かぶと教室】
8月8日
胴飾り布張りつけ



【鎧・かぶと教室】
8月8日
平紐とおし



【鎧・かぶと教室】
8月27日
NHK取材

実施事業の写真



写真のコメント
【鎧・かぶと教室】
10月16日
総仕上げ着付



【鎧・かぶと教室】
10月16日



【鎧・かぶと教室】
10月16日



写真のコメント

【鎧・かぶと教室】

10月16日

総仕上げ着付



【鎧・かぶと教室】

10月16日



【鎧・かぶと教室】

10月16日

実施事業の写真



写真のコメント
【赤穂市】
10月27日
高雄公民館まつり参加



【赤穂市】
10月27日
高雄公民館まつり参加



【赤穂市】
10月27日
高雄公民館まつり参加

実施事業の写真



写真のコメント

11月23日

白旗城まつり



11月23日

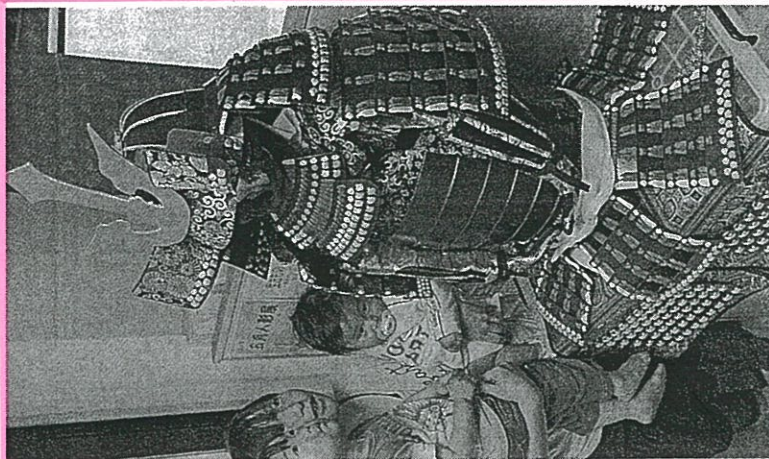
白旗城まつり



11月23日

白旗城まつり

4 参考資料を自由に添付してください。



**本物そっくり
鎧かぶと工作**

実際に着用できる鎧かぶとを、厚紙や布を素材に手作りする体験会の参加者を高雄公民館が受け付けている。手作り甲冑を地元

祭りなどに活用している上郡町の「赤松地区むらづくり推進委員会(古正好晴会長)が東備西播定住自立圏形成推進事業として主催。部品の加工から組み立てまでを指導す

る。旧赤松幼稚園で第1木曜日、第2・第4水曜日の午前9時半〜正午に集まり、11月の完成を目指す。

サイズは大人用(1寸)から小学低学年用まで4種類。甲につけ

る立物の形、胴に入れる家紋も選べる。費用は材料代として2000円。赤穂市民5人を募集する。

すでに上郡町と備前市から計15人の参加があり、古正会長は「一緒に工作しながら交流を深めましょう」と呼び掛けている。人数が揃えば高雄公民館での開催も可。問合せは同公民館 ☎48・7500。(写真は手作り鎧かぶとの完成員本)

**ソロチ西播磨
28日慈善バザー**

女性奉仕団体「国際ソロチオミスト西播磨」(井上直子会長)は「第19回チャリティバザー」を5月28日(火)、加屋屋中洲の赤穂ロイヤルホテルで開く。

34の企業、商店が協賛し、婦人服、雑貨、食料品などを販売。収益金は福祉施設などに寄贈する書色回転灯付き軽自動車の購入費に充てる。

午前10時半〜午後3時。入場チケット(お茶席券付)は500円。

**元御崎小学校校長
松本保さん死去**

▼大切にしたい
高雄の宝物 11高雄十種川河川敷で18希少植物・ハマウ

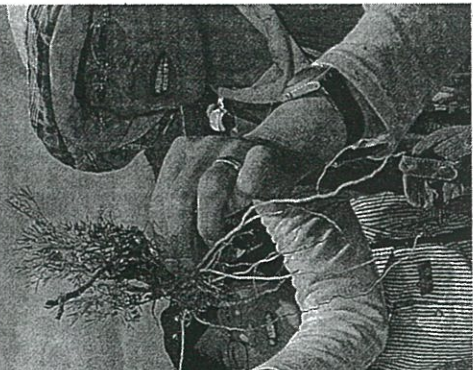
ボの観察会があり、護活動に取り組む地住民と児童約100が紫色の花穂を見学した。

ハマウボはカララヒギに寄生する一年生。県内では高雄の他成ヶ島(洲本市由良)にしか自生しておらず、兵庫県レッドデータブックAランクの絶滅危惧種に指定されている。同河川敷では平成15年に「ひょうご森のイストラクター」の堀岸孝さん(63)北野川が発見。その翌年地元住民らが「高雄区水辺づくり協議会」を立ち上げ、約500平方メートルを保全地として整備した。宿屋なるカララヒギと

併せて保護し、花が咲く毎年5月に観察会を開いている。

観察会では環境教育の一環として代々保護活動を受け継いでいる高雄小6年生児童がこれまでの経緯、年間計画などを模造紙にまとめて発表。堀田さんの案内で保全地を散策した。生態研究のために校内の花壇へ移植する教株を掘り起こし、ハマウボとカララヒギの根がつながっている様子も観察した。

初めて観察会に参加したという4年生の尾崎舞君(9)は「本当に根が繋がっていて、びっくりした。『高雄の宝物』なので大切にしたいと思えます」と話していた。(写真は絶滅危惧種のハマウボを見学した観察会)

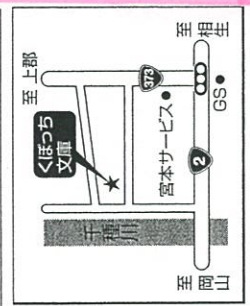


くほのお文庫の
**絵本で世界を
旅しよう!**

【夢みる少女】
100年前のまだ開拓が進んでいないオーストラリア。そんな奥地に住む少女の日々の暮らしを描いた、なんともホットで、心はグッとくる絵本です。
少女は妹の世話をしたり、水くみに行ったりお手伝いをしながら

もたちが描いている夢が家族のぬくもりのなかで少しずつ育っていくことを願ってやみません。
手書きに汗しているママたちに手にしてほしい1冊です。

『ゆめめるリジー』
○作・絵／ジャン・オ



シー出版

▽くほのお先生1元
中学校長の久保良道さん。国内外の絵本を集めた私設図書館「くほのお文庫」で3000冊を超える蔵書を無料貸し出し。第2・第4土曜日に開館。有年原

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

(円)

収 入		支 出	
受講生負担金	127,000	サラン(799・1360・680・799)	3,638
大人甲冑		合皮	8,846
10,000×5	50,000	厚紙・ボンド・つづり紐	16,900
子ども甲冑		厚紙(25枚)	15,000
7,000×11	77,000	平紐(143,861手数料735)	144,596
		威紐・耳紐(13,972手数料525)	14,497
自己資金	99,680	威紐(9,030手数料525)	9,555
		威紐・耳紐・細紐(5,820手数料525)	6,345
支援金	195,000	写真印画紙	890
		威紐・丸紐(28,767手数料1525)	29,292
		藁草履	20,000
		鉄砲材料(80・779・770・1135)	2,764
		衣しょう裏地	10,926
		丸紐(3,916手数料525)	4,441
		丸紐(3,465手数料525)	3,990
		小 計	291,680
		白旗城まつり出演御礼	
		備前ろくろ踊り保存会	15,000
		置塩城よろいづくり	15,000
		備前富田松山	50,000
		尼子戦国隊	50,000
		小 計	130,000
合 計	421,680	合 計	421,680